



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 立石 誠 幹事 赤羽弘之 会報委員長 矢島 勇 第2850回例会 2018.12.13 No.1510



インスピレーションになろう

2018-19年度RIテーマ

BE THE INSPIRATION

ソング 我等の生業**ビジター・ゲスト紹介**

(有)丸中産業 代表取締役 唐澤規之様

会長談話

先程、唐木エレクトから薪ストーブの話が出まして、薪は燃料代が掛かるということをお聞きしました。

先日、白鳥市長とペレットストーブの話を聞く機会があり、ペレットストーブは燃焼効率がものすごく良いので薪ストーブに比べ灰が3分の1しか出ないとお聞きしました。唐木エレクトから薪ストーブは木を準備しなければならないし、火を止めるわけにいかないし、灰が出て大変です。と言われた時に、白鳥市長から伺ったことをふと思い出しましたのでお話ししました。

**誕生祝**

遠藤和夫
馬場智義
城取健太

**幹事報告**

1. 白馬ロータリークラブより、第32回「国際ロータリー交換学生スキーの集い」ご案内とお願いが参りました。
スキー、スノーボード指導(未経験者・初心者対象)

を、2日間ご支援お手伝い頂ける方を募集しています。

開催期間:2019年3月26日(火)8:00~27日(水)12:00までの2日間

開催地 スキーの集い 白馬岩岳スノーフィールド
 例会・交流会・懇親会 白馬東急ホテル
 申し込み先 スキーの集い実行委員会事務局
 宮尾英明(白馬RC)または白馬RC

2. 地区事務所より、年末年始休業のご連絡が参りました。

2018年12月28日(金)~2019年1月4日(金)

3. 伊那ライオンズクラブより、新年例会のご案内が参りました。

日時:2019年1月8日(火)18:30~
 場所:JAフラワパレス

4. 伊那青年会議所より、新春会員大会のご案内が参りました。

日時:2019年1月12日(土)
 新春会員大会 17:30~18:40
 懇親会 18:50~20:00
 場所:伊那プリンスホテル2F
 懇親会費:6,000円

☆お知らせ

- ・第59年度3期分会費65,000円(会費55,000円、誕生祝5,000円、結婚記念日祝5,000円)及びロータリー財団寄付金(一括の方は10,000円、分割の方は2,500円)を1月10日に銀行口座より引き落とさせていただきますのでよろしくお願い致します。
- ・1月10日(木)新年例会は、18:30~だるまです。
- ・次週20日(木)は休会(特別休会)です。お間違いないようお願い致します。

出席報告 会員数57名 内出席免除18名 長欠2名 出席者34名 事前メーキャップ4名 出席率

69.09% 前々回 100%変更無し。

ニコニコボックス

立石 誠・赤羽弘之 唐澤規之
様、本日は卓話よろしくお願
い致します。

松下正博 先々週、県知事表彰
を受けました。

第 60 期役員・理事 唐木 章



卓 話

有限会社丸中産業 代表取締役 唐澤規之様
演題ー「ありがとうプロジェクトについて」ー
(紹介者平澤泰斗情報・プログラム委員長)



ありがとうプロジェクトを
ご紹介いたします。

- 2016 年 一般社団法人あり
がとうプロジェクト設立
- 役員及び役員の事業内容

- ・有限会社 丸中産業代表取締役 唐澤規之
(産業廃棄物処理事業)
- ・リサイクルマート伊那店、諏訪店 オーナー
久保村欧州 (リサイクルショップ事業)
- ・(株)鈴可 専務取締役 福田直也 (古着、服飾生
活雑貨、自転車、食器、家具、その他多類、輸
出輸入貿易業)

○現在、日本においてリユース (再利用) の意識
は小さく、多くの商品がゴミとして家庭から処
理されています。又、多くの企業はゴミを有料
で処理しているのです。

世界中が日本からの多くのリユース品を待っ
ているのに...

①世界中の多くの人々に中古品を使ってもら
いたい。

②多くの企業、個人に賛同してもらいたい。

③より多くの人々に世界で日本の中古品が必
要とされていることをわかってもらいたい。

という思いから、役員 3 名で設立したプロジェ
クトです。

○ありがとうプロジェクトの実績

- ・小中学校、保育園 12 校で参加回収。
- ・企業団体、8 社で参加回収。

○後援 南箕輪村教育委員会 伊那市教育委員
会 宮田村教育委員会

以上で現在に至っています。

年末のお忙しい中、時間を
作っていただきましてありが
とうございます。

資料をお渡ししてありますが、
事業概要として日本の中古品
が世界でまだ使われる事情があります。産廃、リ
サイクル事業をしていますがその中でまだ使える
物が、国内需要が無いのでお金を払って廃棄を
している状態でした。



世界中に教育環境が整っていない恵まれない
状況で学校に行き、また生活をしている子供たち
がいます。そんな子供たちと知り合いになったの
は、2016 年 9 月でした。

カンボジアの学校に行く機会があり、お邪魔し
ましたが、日本の学校と違って文房具、運動の道
具が一人に一個ずつある状況ではなく、何もない
ので何も出来ないという状況を見てきました。

実際に会って感じたことは、日本であつても海
外であつても、子供の笑顔はとても貴重で素晴ら
しいものだと言う事です。そんな子供たちの笑顔
を守っていきたいと思いました。

リユースすることはゴミを減らすことにも繋
がり、一種の環境貢献であり、海外の必要として
いる人へ送る事は、海外貢献であると考えます。

受け入れ品はリユースの流れがあり自治体、学
校、企業から文具、楽器、鍋、食器、ぬいぐるみ
等を集めて役員がいる貿易会社がタイの方で卸
売りをして、その売上金の一部を教育支援に、
使える物があればそのまま学校で使っていた
く取り組みをしています。日本の中古品を世界中
で必要としている人が沢山います。

是非、多くの企業様にプロジェクトに参加して
いただければと思い、今日はやって参りました。

学校と企業で集めたものはこんな感じになり
ましたというのが、丸中産業のホームページにあ
りますので見ていただければと思います。

学校教育の一環として全国で初めての「循環型
社会」のモデルを、これからの子供たちがおくる
家庭生活や学校教育の取り組みとして、全国に発
信していきたいと思います。